



人と生き物に優しい 川づくりを目指して

～芥川で私たちにできることって？～

芥川俱楽部が生き物に優しい川づくりをはじめて20年。今では多くのアユが芥川を遡上するようになりました。

20周年記念事業「芥川のええとこ30選」の募集を通じて、芥川が市民の暮らしの中で多様な魅力を持つ大切な存在であることを再確認することができました。

一方で気候変動、外来種、ゴミ問題などにより、生き物の生息環境は変化し、昔は普通に見られていた種が見られなくなるなど課題も多いです。

生き物や自然の豊かな芥川を守っていくにはどうしたらいいのか？「私たちにできること」と一緒に考えませんか。

日 時 令和8年2月28日(土)
午後2時～4時30分(開場:午後1時30分～)

会 場 クロスパル高槻 8階 イベントホール

定 員 150人(申込順・無料)

申込期間 令和8年1月13日(火)～2月20日(金)

申込方法 簡易電子申込(市ホームページ)



申込はこちら

1. 話題提供

【講演】萱場 祐一(かやば ゆういち)さん
「気候変動下でひとと生き物の両方を守ること」

東京工業大学工学部土木工学科修士課程修了。工学博士(名古屋大学)。土木研究所水環境研究グループ部長(学部長)を経て、令和3年より名古屋工業大学社会工学科環境都市分野教授。治水と環境の両面から持続可能な流域を構築するための手法を研究。「10年後の球磨川流域を見据えた持続的な地域構築のための「協創の流域治水」」プロジェクトにも参画。

【講演】下村 実(しもむら みのる)さん

「生き物・自然、とんでもなく面白いけど心配ごともある」

近畿大学農学部卒業後、海遊館の立ち上げに携わり、以降生物の飼育を中心に30年以上勤務。その後、京都水族館、すみだ水族館の立ち上げに関わり京都水族館長を経て、令和2年より四国水族館飼育展示部長。令和6年4月より公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園・園長に就任。

2. 「芥川のええとこ30選」の解説

3. パネルディスカッション

【コーディネーター】中瀬 勲さん(兵庫県立人と自然の博物館名誉館長)

【パネリスト】萱場 祐一さん 【パネリスト】下村 実さん

共催：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川俱楽部～

共催：高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)

＜問い合わせ先＞高槻市 下水河川企画課 TEL: 072-674-7432